



メディア依存に落ち込まない冬休みに

校長 小松 敦

11月27日(木)の午後、「メディアとの上手なかかわり方を考えよう」をテーマに、PTA厚生部のご協力のもとで学校保健委員会を開催しました。その第1部の健康講座では、県教育庁上越教育事務所の生徒指導担当指導主事を務められた上越市立城西中学校の五十嵐守男先生をお招きし、「あふれるメディアから自分や仲間を守るために」と題して、2年生全員にお話しをいただきました。お話しの中からいくつかを紹介します。

◆テレビについて

「冷蔵庫は何するもの?」「洗濯機は何するもの?」と問われたら、しっかり答えられると思う。ではテレビは?テレビと上手に付き合えない人は、インターネットとは上手に付き合えない。テレビというメディアとの付き合い方、つまりテレビをどう使うかで大切なことは、次の2つ。一つは、目的意識をもって使うこと。「〇分間ニュースを見て、社会の動きを知る」「この番組は、気分転換のために見る」等、何のためにテレビを見るのかをはっきりさせておくこと。もう一つは、「別の見方をする」ことを意識すること。テレビ番組は、単純化したり白黒はっきりさせたりしたものが視聴率は高くなる。このような番組ばかり見ていると、単純なものの見方しかできない人間になってしまう。こういう人がインターネットをすると極めて危険である。



◆ゲームについて

昔のゲーム(トランプや将棋等)は、顔と顔を合わせて行っていた。表情から相手の気持ちを考えていた。今の機器を使ってのゲームは、スクリーンを見て行い、お互いの顔と顔は合わせない。表情から相手の気持ちを考えることができない。また、今のゲームは、「積極的反応の原理(すすんでやる)」「スモールステップの原理(小さな達成課題)」「即時フィードバックの原理(すぐに結果が分かる)」「マイペースの原理(自分の好きなペースでできる)」といった心理学を駆使して制作されている。だからハマってしまう。

◆インターネットについて

インターネットは、まだ使い方を学ぶ仕組みができていない未完成な道具である。「メディア依存」とは、機械自体にハマっているわけではなく、画面を通した他人とのやり取りにハマっている。依存性の高いメディアにSNS(利用頻度が高く、依存性が高い)やオンラインゲーム(利用頻度は中程度で、依存性は非常に高い)等がある。依存性の高いメディアの特徴は、「すぐに返答が来る」「答えなくてはいけない」「相手が待っている」「関係が悪くなると困る」「仲間外れになりたくない」…があり、真面目な人ほど大変になる。ずっとかかわっていないと何を書かれているか不安になり、生活習慣の乱れにつながる。不登校につながりやすく、依存から抜け出しにくい。引きこもり状態にもなってしまう。

◆小・中学生にメディアコントロールが必要な理由

小・中学生の時期は、脳の脳辺縁系(欲求や感情を司る領域。快樂とも関係する)は大人並みに発達するが、前頭葉(望ましい行動を選択する領域)は発達が未熟である。自己コントロールが働きにくく、欲求で動きやすい時期である。だから、各家庭で依存の危険性を理解し、家族のルールを決める。望ましい行動選択かどうかを親が教える。こういった、自己コントロールのための環境づくりが必要である。

この25日からの冬休み。3年生は受験に向け、強い意志でメディアに依存することなく計画的に学習を進めてくれる(是非そうあってほしい!)と信じています。1・2年生についてもご家庭でルールを決めていただき、子どもたちがメディア依存に落ち込まない良い冬休みにしていただければ幸いです。

平成27年度生徒会役員選挙が行われました

12月9日当校体育館にて、平成27年度生徒会役員選挙立会演説会が行われました。

さながら冷凍庫の中のような体育館で、ジェットヒーターを点灯し、防寒着を着用しながらの会でしたが、責任者・立候補者の生徒会にかける熱い思いや、質問者の要望や期待に応えようとする誠意が全校に伝わる、温かな会になりました。

翌日の投票には、全校生徒が真剣な姿勢で臨み、新生徒会役員が選出されました。



今月の表彰

上越地区中学校新人バスケットボール大会

女子バスケットボール部 準優勝（新潟県大会出場）

新潟県中学校新人卓球大会

個人戦1年生の部出場 里麻永空 渡辺吏玖 細井万莉奈 川井梨華 渡邊有紗

新潟県アンサンブルコンテスト中学校の部

銀賞 打楽器3重奏（藤木優衣 中島智香 沼屋遥菜）

銅賞 管楽7重奏（松嶋寿美礼 保刈美咲 大嶋梨紗 今村綾花 関原ももこ 園田優希）

いきいきわくわく科学賞県審査

奨励賞 「ダイラタンシー現象Ⅱ」山崎勇人 水元武 五十嵐翔栄 吉岡敦史 那須勝二

第14回創造ものづくり教育フェアINえちご

新潟県家庭科研究会会長賞

優秀賞

奨励賞

水沢朱吏「ぼうし屋さん」

岩下恵実「クッキーはどちらですか」

猪又優花 水野絢日 猪又遥 岩下恵実

第16回上越地区小・中学生俳句大会 ぎんなん句会

特選 沼屋遥菜「コスモスの咲きみだれてる通学路」

入選 久保翔太 倉又琉杜 里麻広空 渡邊有紗 恩田つぐみ 渡邊詩音 山本冴花 縄夏希

作品展示が行われました



学期末個別面談にあわせ、作品展示が3階多目的室や廊下等で行われました。

国語、美術、技術家庭、総合的な学習の時間の授業でつくった作品や文化部家庭科コース・美術コースの作品を展示しました。生徒の苦労の跡がうかがえる力作・大作ぞろいで見応えがあったようです。

1月の主な行事予定

- 7(水) 上越地区スキー大会 (9日まで)
- 8(木) 始業式、基礎テスト(国)
PTA総務委員会
- 9(金) 県診断問題、基礎テスト(数・英)
- 13(火) 全校・表彰朝会
- 14(水) 3年生進路面談(16日まで)
県スキー大会(16日まで)
- 20(火) 1、2年生スキー授業(21日まで)
- 22(木) 生徒朝会、避難訓練
- 23(金) 英語検定
- 28(水) 3年生定着確認テスト(29日まで)
学習参観日、移行学級